

式 辞

校庭の豊後梅が清楚で優美な花を咲かせ、春の訪れを感じさせる今日の佳き日に、大分県議会副議長・濱田洋様、玖珠町長・宿利政和様、九重町長・日野康志様をはじめ、多くのご来賓並びに、卒業生の保護者の皆様方のご臨席を賜り、大分県立玖珠美山高等学校 第四回卒業式を、このように盛大に挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、衷心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました百十四名の皆さん、卒業おめでとうございます。本校を代表しまして、皆さんの卒業を心から祝福いたします。皆さんは、三年間の高校教育を終了し、新たな人生の第一歩に向けて、希望に胸を膨らませていることと思います。今の感激をいつまでも忘れることなく、充実した日々を送っていただけるものと期待しています。また、保護者の皆様にも、本日のご卒業を、心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、三年前の四月、真新しい制服に身を包み、緊張と期待を胸に抱いて本校に入学しました。皆さん一人一人が、校訓である「自立・創造・協同」を体現し、本日を迎えることができたのは、日々の努力の賜物であると、称賛いたします。

私が皆さんと初めて会ったのは、昨年、四月の新任式・始業式でありました。私の前には、整然と整列し、新学期への意欲に燃えた皆さんの凜とした姿がありました。私が本校で校長として勤務することに、正に、身の引き締まる思いをしたことを覚えております。始業式では、出会いを大切にし、何事にも挑戦意欲をもって取り組んでほしいということをお願いしました。私自身も、皆さん一人ひとりとの出会いを大切にしたいと思い、色々な場面で声をかけさせてもらいました。

授業や部活動に加えて、放課後、教室や廊下で学習に励む姿、みやまマルシェなどの地域産業科の販売活動、農業クラブの研究発表、ボランティア活動にひたむきに取り組む姿、美山祭や強歩大会などの行事における若さの煌めきなど。皆さんから、数々の感動をもらい、本当に勇気づけられたものでした。皆さんの活躍が、新聞やテレビで報道されることも多く、開校後間もない、玖珠美山高校の名前を、地域に県下に響かせてくれました。私は、皆さんに声をかけたり、激励をしているつもりでも、私自身が、いつしか、皆さんから、励まされたり、元気をもらっていたのです。これは、本校の教職員の全てにも、当てはまるでしょうし、地域の方々も同様の思いをされたと思います。

さて、これから皆さんは、社会に巣立って行くこととなります。卒業後に進む道は様々ですが、これから皆さんが活躍する社会は、急速なグローバル化や情報通信技術の進展な

ど、これまで誰も経験したことのないほど変化の激しい社会になります。こうした社会では、一旦身につけた知識だけで生き抜いていくことはできません。自ら学ぼうという意欲をもって、生涯学び続けることが大切になります。

これから皆さんに求められる「学び」には、教科書が用意されているわけではありません。何を学ぶのかが決まっているわけでもありません。学ぶことが強制されているわけでもありません。高校までの「学び」に比べれば、はるかに難しい「学び」になります。しかし、皆さん一人一人が、責任を持って自分の人生を生き抜いていくためには、極めて重要な「学び」です。卒業というこの大きな節目に当たり、卒業生の皆さんには「学び続ける覚悟」をもってほしいと願っています。

保護者の皆様には、改めて、お子様のご卒業を、心からお祝い申し上げます。皆様におかれましては、このように大きく立派に成長するまでの様々な場面を、思い出されるのではないのでしょうか。四月から家庭を離れ、一人で生活を始める場合もあり、感慨もひとしおであろうと拝察いたします。本校に託していただいた三年間、教職員一同も全力で教育に当たってまいりました。保護者の皆様には、ご理解とご支援を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

また、玖珠町・九重町をはじめ、多くの本校関係者の皆様には、物心両面に渡り多大なご支援を賜りましたことに、重ねて感謝申し上げます。

結びに、私の好きな言葉で、アメリカ合衆国・アップル社の共同設立者の一人であるスティーブ・ジョブズの名言を、皆さんに贈ります。

「Stay hungry. Stay foolish.」

この言葉は、文字通り「ハングリーであれ、愚か者であれ」と日本語に訳されていますが、その中には「失敗を恐れず、迷わず、自分の決断に責任を持ち、信じたことをやろうじゃないか」という意味が込められている言われています。「Stay hungry. Stay foolish.」いつまでも、心は若いままでいてください。

挫けそうな時も必ずやあると思いますが、そんな時は、周囲を見渡してみてください。皆さんが日頃から周囲の人に感謝し、人の役に立つことができる人間になろうと心がけているのであれば、あなたを気遣い手助けしてくれる人が必ず見つかるはずです。皆さんが、一度しかない自分の人生を逞しく生き抜くことを願います。

卒業生の前途を祝し、式辞といたします。君の明日に幸せあれ。

平成三十一年三月一日

大分県立玖珠美山高等学校
校長 奥田 宏